

<球磨村（一勝地）／住民>

日 時：令和2年10月22日（木）13時30分～15時00分

会 場：球磨村役場

参加者：10名

【発言者①】

私は農事組合法人の〇〇もしております。

今回の災害におきまして、県道に架かる相良橋それから沖鶴橋等が流されまして、農産物の出荷におきまして大変苦労いたしました。

特に、出荷時期には小型の、いつもは大型のトラックがあがってくるんですけども、小型トラックでピストン輸送をいたしまして人吉まで大変苦労いたしました。

それから、JA部会におきましては、製品の傷の痛みも出ていると報告がございますので、できるだけ早めに橋の復旧、それからまた道路の復興、復旧を早めをお願いしたいと思います。

【発言者②】

大変、人吉球磨の豪雨災害において県の方もいろいろ力添えをいただいていることを感謝申し上げます。

まず、一点目なんですけど、ここにもありますように、最後のページに単なる元に戻すだけではなく創造的な復興を目指すこととなっております。

非常にこれを元に戻すこと、もちろんこれまでの縦のつながりと横のつながりのなかで、どうしても災害においては現況に戻すという基本のなかでこの位置づけとして単なる戻すのではなくて創造的に復興を目指すということなのであれば、やはり、そこの現況に戻す以上に、これまで進めてきた治水対策を抜本的に見直し、今後実際、今球磨村の状況をいいますと、もう住めない村、あるいは諦めといいますか、そういうところを含め、今後住みたい村という村づくりのなかで、新しいコミュニティが生まれるような、創造豊かな村を構築するために非常に力添えが必要かなというふうに思っております。

また、球磨川沿線の状況をメディア等でやっておりますが、非常に球磨村、人吉を含め支流がたくさんあります。なかなか支流の被害においては表には出てきていない状況で、やはりこの支流で山間部に暮らす人達それぞれが高齢者の方が多いなかで、生活が非常に困窮しているなかで、もちろん球磨村は平均所得が最下位という状況のなかで、より一層地域の維持をどうやってやっていくのか、これに対する一番最初にくるハード的な部分が非常に今回やられておりま

すので、そういったものを含め、支流に対する対策をしていただきたいというふうに思っております。

また、球磨村においては3,500人程度の人口であります。このなかで400人程度が避難所、あるいは仮設住宅あるいは村外に出ている状況です。それにおいて、再度各地域に帰ってコミュニティ再生をするなかで、非常に難しい部分が出てくるというふうに思っています。

これについて、各地域がそれぞれもっている歴史であったりとか、地域のそれぞれの維持をできるように、ここまでひっくるめ復興という形にしていれば球磨村の将来も見えてくるのではないかというふうに思っておりますので、そこら辺の考えをお聞かせいただければと思います。

【発言者③】

県には大変日頃よりお世話になっておりますし、また水害についても本当に大変職員を派遣していただいて感謝申し上げたいと思います。

これまで堤防のかさ上げ等をしていただいて本当に安心をしておりました。そしてまた、道路もしていただいて本当に大水が出て大丈夫だなと思った矢先にこういう災害でございました。

特に、大水が出たあとの道路復旧をされておりますけれども、今後におきましては、早めの国道、県道を含めての道路の復旧復興をお願いしたいと思います。

先ほども話がありましたように、渡の2本の橋が流れました。1日も早くどっちか1本でも結構です。その対策もお願いをしたいと思います。

それとこれまで抜本的な治水対策ということでお願いをしてまいりました。私達は、あくまでも5分の1、10分の1じゃなくて80分の1でお願いしますよとしてきました。そこあたりも、もう少し検討をしていただきたいと思います。

それと国道もお願いしたいけれども、やはり迂回路あたりの整備を今後、山つきあたりの迂回路があったからこそしのがれたと思いますので、迂回路の整備もしていただきたいと思います。

【発言者④】

〇〇です。今回の豪雨水害について地域住民、県の方にお世話になりました。

おかげをもちまして、今復旧に努力されて、それぞれの約半数が地区では我が家に帰りました。しかしながら、今も一緒ですけれども雨が降るたびに大変不安な思いをして今過ごしております。

状況からいきますと、私達の地区においては、平成19年にかさ上げをやっていただいて、これ以上水はこないという状況のもとに生活をしておりましたけれども、想像を絶するような水害ということで今においても不安が出ている状

況だと思えます。

そういうなかで、今後についてお願いしたいのが、やはり今の状況ではとても安心して暮らせる状況下がないのかなと。私達はできますればもう少し高いところに避難所というものを作っていただいて、できれば安心して暮らせる生活ができるようにご協力をお願いしたいと思います。

それと、一つ個人的に思えますのは、先ほど話ができましたように、支流の方では大変傷んでおります。私も農家をしながら生活をしておりますけれども、稲を作っても稲刈りができない状況であります。そういった土砂が入っておりまして水の確保もできないということが今後続くようだと、これもまたここで個人的にできるようなものではありませんので、早急をお願いしたいと思います。

【発言者⑤】

それでは治水対策の件で、球磨川の場合は渡から神瀬まで歩いた結果、ほとんどのかさ上げをしたところで床上浸水になっておりました。テレビでも言われるように100年に1度の洪水といわれますが、地球の温暖化の影響もかなりあったと思えます。

今後の対策としては、大雨洪水時の球磨川の水量調整対策が一番必要だと思います。テレビ等のマスコミで流れておりますが、いろんな意見が出ていますが、最大の効果が出る方法で実施していただきたいと思えます。

それから、球磨村もそうなんですけれども、今後仮設住宅ができましたけれども運動公園等に、皆さんが入居されております。ただ、今後2年以降、今後自分の家に帰ることができたらいいと思えますが、できない方もおられると思えますが、それは私の考えですけれども、今後球磨村にも数ヶ所の団地を作ってもらいたいと思えます。それが私の考えです。

【発言者⑥】

〇〇と申します。よろしく願いいたします。

私、本業の方は〇〇を運営させてもらっているところなんですけれども、子ども達の心のケアというのがかなり必要じゃないかなと思っております。

いろいろスクールカウンセラーとか小中学校の方は派遣していただいて、徐々に落ち着きを取り戻している状態だとは思いますが、やはり時間を要することかなと思っておりますので、今後とも引き続きメンタル面でのケアの方の充実を図っていただければと思えます。

それと治水に対してなんですけれども、検証委員会ですか、その場においてもし川辺川ダムがあったとすれば、6割が回避できたというような話をお聞きいたしました。6割も回避できたのか、それとも6割しか回避できなかったのか、

回避できないのかそういう思い、それはおのおの違ってくると思いますけれども、まずは各市町村において、遊水地を多くとってもらいたい。球磨川流域だけでなく、先ほどおっしゃられたように支流に関しても空いている土地があったら遊水地とかそういうのをできるだけ本流に流れないように工夫をすべきじゃないかと思います。

それと川底の掘削そういうのも十分とっていただければ、かなり水位の方も下がってくるのではないかなと、あくまでも素人判断なんですけれどもそう感じました。

護岸の整備とかいろいろしてもらったら、かなり今回のような水害というのは回避できたんじゃないかなと心には思ったところですけども、今から地球温暖化というような感じで今回の豪雨以上の、また想定外の豪雨というのもあり得ることだなと思ったときに、川辺川ダムだけに頼るのではなくて、各市町村がその取り組み、遊水地とかするのがいいんじゃないかと思います。

そして、まずは住民の方達が安心して住めるように、高台に代替地を一日も早く、各地区に。一か所にそれを集中してしまうと、今まであった既存の地区というのはかなり衰退していくと思います。

やはり人が住んでこそ、はじめてその地区は生きてくると思うので、できればそういう取り組みを進めていただいた方がいいんじゃないかと思っています。

なかなか、人の命を守るためにはどうしたらいいんだろうかと思うときに、最優先にするのが代替地、安心して住めるような取り組みをするのが先決ではないかなと私自身は思っているところです。

【発言者⑦】

球磨村PTA連絡協議会の〇〇をさせていただきます〇〇といたします。本日は大変お世話になります。

今回の7月豪雨災害におきまして、球磨村には渡小学校、一勝地小学校、球磨中学校の3つの学校がありますけれども、渡小学校の方が災害で被害を受けまして、今現在一勝地小学校の運動場の方に臨時校舎、仮設校舎を建ててもらって、今一緒に教育活動をさせていただいているところなんですけれども、実際災害が起きました当時、保護者の皆さんともいろいろ説明会がありまして、実際今後どうされるかということで、ほとんどのPTA会員の皆さんが一日でも早く学校に子どもを戻して教育を再開してほしいということの話がありまして、学校の方も臨時的な授業ではないんですけれども、臨時的に仮に教育の場というか受け付けますということでさせていただきましたところ、かなりのPTA会員の皆さんが子ども達を連れて、国道の方の道路はまだ復旧をしておりませんでしたけれども、来ていただきました。

今後も国道、JR、球磨の方にいけばくま川鉄道ですか、そこら辺も今回被害を受けておりますので、今後教育をしていく上で保護者、私も一保護者なんですけれども、今後どういうふうに工事、復旧が進んでいくか先が見えない状態などで保護者もすごい不安を抱いているところです。

そこら辺が方向性が見えてくれば、少しでも前が見えてくるんじゃないかなというふうに思っているところでございます。

球磨村も村長が言われますように、子どもは村の宝だといわれますので、働く親がよそに出て行ってしまうと、だんだんだんだん球磨村の方も人口は減ってくる、帰ってくる子ども達もいなくなってしまう、そういうところはこのままの現状でいけば減ってしまいますので、先ほどの話もありましたようになかなか球磨村自体が山間地でございます、安全な場所というのは、川から水が上がってきますし、上から山の方に行きますと土砂が落ちてくる、間違いなく100%安全な場所というのは難しいかと思うんですけれども、そこら辺もぜひ今後の対策として皆さんのお力添え、参考にさせていただいて一日でも早く球磨村、球磨地域の復興復旧に向かっていっていただければと思っております。

私の方から、思っていることは以上でございます。よろしく申し上げます。

【発言者⑧】

消防団としましては、今回の7月の災害にあたりまして、本当にほかの関係者の方々も含めまして、消防団員も我が家が被災したなかで、それを置いていろんな復旧活動に貢献してくれました。本当にありがたいと思っております。

現在、消防団、積載車のあった詰所と、活動服等が今回の災害で流出したり、積載車が動けない、そういったのがあります。

今後、また冬になりまして乾燥した季節になりまして、火災とかほかの災害もいつ起きるのがわからない状況ですので、それに対処するためにもそういった消防団が活動できるような、そういった積載車などの導入も消防団としてはお願いしたいと思っております。

治水に関しては、私が言う立場ではございませんけれども、本当に県知事をはじめ球磨村村長、いろいろ決断をされるには本当に大変だと思いますけれどもどうぞよろしく申し上げます。

そして、私、球磨川の対岸の三ヶ浦というところに住んでいます。その〇〇も兼ねていますので、要請とか陳情があったと思っておりますけれども、県道人吉水俣線、人吉と球磨川の対岸からみると1キロくらい、直線でみると1キロない、未着工区間があります。そこをつなげていただくと本当に対岸の三ヶ浦地域は人吉に今本当に迂回してガタガタ道を行っておりますけれども、そこをつなげていただくと大変交通の便がよくなります。三ヶ浦の者としてそこはお願いしたい

と思います。

【発言者⑨】

あがり症なのでうまくお話できるかわからないんですが、文章を読まさせていただきます。

球磨川の豪雨検証委員会の災害検証が拙速で不十分ではないかと私は思います。

8月25日、10月6日に2回開催された球磨川豪雨災害検証委員会で示された今回の豪雨災害の検証結果は、そのほとんどが国、河川管理当事者であります国土交通省が作成されたものでございます。

検査量、検査域、検査方法、解析、分析手法に多少ですが、疑義を感じております。当事者が作られたデータでございます。何か新聞等や今いただいた資料なんかを見ても本当は鵜呑みにしたいです。ずっと入れてそれをデータに基づいてお話もしたいんですが、新聞・テレビ等を拝見しておりましたり、インターネットを調べておりますと違うデータも存在します。

専門家の方はたくさんいらっしゃいますし、皆さん無謬性をお持ちですから、当然自分は正しいんだとお思いだと思うんですが、そこには多面的な意見も必要じゃないかと思えます。

川側で長年川を見てきた住民の方々、お父さん、お爺ちゃん、いろんな方からお話を聞いてきた方々、実際に被災した体験者の被災状況、その報告を取り入れてもらいたいと思いました。

医療でもセカンドオピニオンの時代です。出されたデータをダブル、トリプルチェックとは申しませんが、集積したデータを分析した方とは別の専門家達の多角的な意見も、今の時代よくある第三者的分析も必要と考えました。

これは福島第一原発の事故で東電が出したデータをそのまま鵜呑みにしていたら被災者はいなくなっちゃうんです。実際は、人災もありました。高い堤防を作っていれば、非常用発電は動いたわけです。

今回の件で大変失礼ですけれども、河川管理をやられている方が被災状況のデータを出されてもすっとは入らないです。検証委員会がたった2回開催で治水対策協議会に移行したのはなぜなのでしょう。2回。僕は少なく思います。

内容は、十分だったかもしれませんが。参加なさっている方々は。豪雨被害、氾濫被害の原因究明が2回の検証では、私は不十分であると思えます。

先ほどから支流のお話が出てきました。場所によって全然被害は違いますし、原因も違うんです。被災地域によって災害原因が異なる。山の荒廃や無計画な植林による流木被害にはあまり触れられておりません。瀬戸石ダムがあったことによる被災拡大に関してもあまり表に出てきておりません。

検証が拙速であればあるほど復興計画もそれなりのものしかできないと私は思います。確かに蒲島知事が一番最初に早急な治水、その早急という言葉、スピード感という言葉をお使いになっただけですが、検証は非常に重要なファクターだと思います。家でいえば設計図や基礎を作る段階の話だと思います。

それがいい加減であれば上に建てる建物もあまりいい建物はできないように思います。私は建築をやっていたものですから。

検証委員会のメンバーは川辺川ダム建設促進協議会、治水対策協議会と重複しております。もう少しその辺のことを考えていただくと、新聞等やテレビで言われているダムありきなんじゃないかという論争は避けられるんじゃないかと思います。

ダム問題がこうやって表に出てきておりますと、本当の治水とか復興というお話がちょっと論点がずれてしまって、メインがダムになっちゃって、そこでの賛否ということになってしまうと、せっかく復旧が緒につきはじめて皆さんが復興というところの気持ちになっているときに、頭の上にダムときますと論点が違うんじゃないかと思います。

復旧復興の当事者と県、国との関係です。例えば、うちの村でいうと松谷村長です。松谷村長は県にお願いして、国にお願いして、復旧復興をお願いする立場です。

では、今回のダム問題である、治水問題である、というようお願いをする立場と施工なさる立場では自ずと難しい関係が発生するんじゃないかと素人考えで慮ってしまいます。

現在、被災者は生活再建、いまだ被災直後でございます。やっと避難所から仮設住宅に移って、家財道具を買って、そんな状況でございます。そのときの住民の意見、有事のときの住民の意見は平時の民意ではございません。平常時、平常心に戻られたときのお気持ちが民意なんではないでしょうか。

蒲島知事は、最近テレビでは民意は変わってきたというふうなお話をなさいますけれども、確かにそうです。有事でしたから。

でも、もうちょっとだけ皆さんの心が落ち着いたときに聞いていただければ、本当の民意が出てくるんじゃないでしょうか。

これはうちの村長には耳が痛いお話しですが、選挙争点に治水対策がないときに選ばれた首長。その首長の意見が決して民意ではありません。治水対策を争点に選挙を行ったのであれば、首長がおっしゃることが民意でございます。

各団体等の意見を蒲島知事はお聞きになっているようですけれども、その団体でもまだ皆さんよく話し合いが行われていないと思います。今回の件に関し

ては。漁協もそうだと思います。

治水対策に早急であるとか、早期決断であるとかスピード感の要求がいつも新聞の見出しにはついております。逃げ。

長年にわたって放置してきました、河道の掘削ですか。実際に釣りに来て、川の中に入ってアユ釣りやってみると以前は別の川だっただろうなと思います。

船なんかやっている漁師に川の話を知ると、「もう平だからな、川は。」と言われて、堆積した石、砂でなくなっているんです、川の本当のでこぼこは。もっと白波が立つようなところだった。もっと深いところ、淵とかいっぱいあったと思います。

ダムも永遠ではない構造物でございます。費用対効果、よく新聞に出てきているので勉強させていただいているんですけども、観光客を呼ぶ、球磨川下りである、アユ釣りをする、アユ漁をする、ラフティング業者さん、「かわせみやませみのやませみも人吉には住んでおります。その環境。

さて、福島第一原発と一緒にすけれども、作る時にはこのぐらいのお金です。みんな簡単に言います。川辺川ダムもちょっと僕が調べたところでは、500億ぐらいでできるようなお話を聞きました。その本体です。

実際、解体撤去となったらどのぐらいのお金がかかるでしょうか。作ったときの、今、治水に対するこういうことができますよとお話ししていますが、それに伴って発生するメリットとデメリットのデメリットの方のお話しもしっかり聞かせていただきたいなと思います。

今の時代ですから、想定外という言葉は想定内なんです。今回は何十年に一度といったけれども、スーパーコンピューターを持っている、富岳を持っている日本であっても気象庁は今回の線状降水帯は予測できなかったです。

そういう時代です。一番は先ほど女性の方がお話ししたように地球温暖化かもしれません。

住民がこの限られた土地で生きてくためには、ダムも必要かもしれないです。それに伴うもっと説明がほしい。なんか上の方だけで、バタバタバタ拙速にスピード感をもってやられているんでしょうけど、拙速の感じがいたします。

もっと今は検証、何が起きて、誰が死んで、なぜ死んだのか。なぜ、神瀬は瓦礫だらけになってしまったのか。

例えば、人吉は水には浸かりましたけれども、全ては球磨川の水ではありません。川辺川の水でもありません。内水もあります。支流もあります。そこで何が起きたのか。しっかり検証しなければ都市計画も復興もないように私は思っております。

拙速な判断には、役所さん、専門学者の特性として、知事は学者さんなのでこんなことをいうと失礼ですけども、無謬性があると思います。自分のやってい

ること、考えていることは正しいんだ。でもたくさんの方がいる、民主主義国家です。だったら多様な意見をもっと丁寧に聞くべきだと思います。

今回、この会合で一般参加しているのは私だけでございます。住民の意見を聞く、皆さん代表者であられます、もちろん住民でもあられますけれども、僕はもっとたくさんの方の住民の方が来ているんじゃないかと思いました。非常に残念です。

拙速な判断には落とし穴があります。先人の知恵や住民の声や反対意見やそんな声を聞かないと作用・反作用になってしまいます。何かをぱっと決めたら反作用が起きるわけです。

未来を決める本当の権利は、先ほどお話しした子ども達、いわゆる住民が持っています。それをリーダーという名のもとに首長、団体の長等が決められるのはちょっとおかしいかなと思います。

日本一の大あゆの川です。川辺川、球磨川は。何とか残していただきたい。そう思います。

【発言者⑩】

質問が重複するところがありますが、私はこの豪雨災害でいとこ家族を3人亡くしました。

これは、私が40年7月水害のときには高校1年生で、私の家は一勝地駅の横なんです。今、〇〇がいましたように、うちのかさ上げの前は下にずっと家がありました。その40年7月水害をもとにしてかさ上げは、友尻地区のかさ上げはなったと思います。

ところが想定外というのを使ってはならない話もありますが、それ以上の今度は豪雨災害でありまして、水かさもものすごく早く上がってきて本当に40年の7月水害の2倍の水量だったと思います。

いろいろ治水問題が出ておりますけれども、ダムがあったからどうだったのかというのはその後の話で、先ほども異常気象の話も出ましたけれども、この前NHKのラジオで球磨川流域の近くに住んでおられる家屋の5,000軒以上は、垂直避難をしても助からない家が5,000軒あるというふうなNHKの放送がありました。

これは水上村から八代までの球磨川の水系の流れのもとで言われたと思いますが、特に球磨村を別に取り上げていただいたときに、次の駅の球泉洞駅のところの大坂間地区は災害マップにも載っているんですけども、そこは家屋の流出が多い地区だと、そういうふうにも言われました。だから2軒とも流されたんですけども、どちらも2階まで屋根の上まで逃げられたらしいですけども、そのまま家ごと流されて行方不明になって2日か3日後に見つかったから、よ

かったというのはいかんですけれども、そういうことがあって、災害マップというのを本当に球磨川流域の災害マップというのは重要と思います。

だから、球磨橋ができて、その竣工のときに県の方が今からこの橋の上を超えるのは50メートル以上は上がらないと、水かさは上がらないでしょうということだったですけれども、そのときには100年と言われました。

100年も20年も経たないうちにこういう水も出てくるということもありますし、かさ上げの問題もありますし、かさ上げでもそのときは今まで大きな水害はなかったけれども、上流からかさ上げしてずっと堤防がきれいになってきておりました、その当時です、40年水害があった時に。

やっぱり集まってくるのは球磨村なんです、水が集ってくるのは。堤防がよくなって、川の流れもよくなって、かさ上げが遅れているところに水の流れが速くなるようなかたちで、堤防のかさ上げなんかも、もし今度のかさ上げいろいろ出てきたら、下流の方からやっていただくようなかたちを求めたいと思います。

先ほども言われましたように、高台への避難場所を早急に見つけて指導していただきたいと思います。

それに、先ほども言いましたように、今流されておりますけれども、そここの道の国道、県道を手入れしていただきたいと思うんですが、JR関係も高校生がこちらから人吉の方、八代の方に帰るのにJRを使っていたものができませんし、家族が送り迎えをしているような状況であります。

そういう国道の復旧と、県道も一緒ですが、それをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

【発言者④】

〇〇ですけれども、現在半分くらい帰ってきております。高齢者が多いなかで村内に商店が全然ありません。買い物に行くにしても人吉まで行かなければならない。ということになりますと、高齢者の方が誰かの車を借りて買いにいかなければならない状況になりますのでできせれば、商店をどうにか販売車とかなんかの1週間に1回程度でも結構ですので、どうにかできないかと思います。

【発言者⑥】

〇〇さんが言われましたように、今の高齢者の方の一番最大の悩みは食料、どうやって毎日の生活をしていくかということで、商店を渡地区も神瀬地区も、食料品の朝、昼、晩の材料が買えるような商店を作ってもらえたらと思っております。

【発言者③】

国道219の渡駅の手前に、家屋が畳二枚ぐらい（聞き取れず）しているんです。それが3か月待っても何で取られないのか。早急に撤去をお願いしたいと思います。

それと、各支流に治山ダムが入っております。大坂間につきましては、その治山の上にパイプをさしたんです。流木を防ぐために。そこあたりを検討していただければ、いくらかの流木は防げるんじゃないかと思えますけれども、よろしくをお願いしたいと思います。

【発言者②】

はい、いいですか。

今、現状の生活を営んでいくなかでのいろんな支援、補助等の申請なんですが、まず一点気になるのは、農機具の補助があります。これについて説明会が9月の末でありました。次が10月の6日だったですかね。

そういういろんな支援策を打ち出していただいて、大変ありがたいことですが、その期限の延長だったり、そういう情報が全然入ってこずに本当のしっかりとした申請書類がきちんとできるにいたるまでの猶予がないという状況であります。

非常に球磨村においては、耕作放棄地これをいかに解消していくのかも含め、もちろん今田んぼ、畑等々が被災しているなかで、同時にそこを含めながら農林業の振興を図る上で、やはりこれまで集めてきた農機具等々のことを考えますと、しっかりとそれがきちんと支援ができるような体制を作っていただきたい。

その他、いろいろ支援もございます。これについても、わかりやすく丁寧に住民に説明する必要があるというふうに思っております。

住民の方々が各行政あるいは各振興局等々に問い合わせをして、書類等を作っておりますが、なかなかこれが復旧復興、本当に再建の一つとしてしっかりとした支援策であればいいんですが、なかなか決まった提出において十分な支援策が行き届かない結果になってしまうことが懸念されますのでお願いをしたいと思います。

(以 上)